

2023 年度交換留学(派遣) 報告書 ②

所属学科／研究科	史学科
留学先国	韓国
留学先協定校	韓瑞大学校
留学期間	約 10 ヶ月
留学時学年	3 回生
留学先での所属	日本語学科
渡航日／発着便	2023 年 3 月 2 日 関空→仁川
帰国日／発着便	2023 年 12 月 20 日 仁川→関空
留学先で取得した単位数合計	18 単位
本学で認定された単位数合計 (※30 単位上限)	18 単位
海外留学助成金	20 万円 (前期 10 万円＋後期 10 万円)
検定試験合格者助成金	—
備考	

留学成果レポート

■なぜ、派遣先国・派遣先大学への留学を希望しましたか？

韓国語は日本語と似ているので、外国語習得をするには韓国語が良いと考えた。修得する事により自信が得られると考え、韓瑞大学には語学堂もあり、他大学より更に韓国語を学ぶことができると考えたから。

■派遣先大学で、どのようなことを学習・研究しましたか？

前期では語学堂を中心に韓国語の学習をしました。自分の韓国語力では授業を聞き取れなかった為です。後期は日本語学科の授業を中心に韓国語を学習し、一年間韓国語力を伸ばすことに集中しました。

■留学するにあたっての目標は何でしたか？ 目標は達成できましたか？

私の留学するにあたっての目標は韓国語力を伸ばすことと人見知りを改善すること、韓国人のみならず、他の国の人も交流することを目標にしていました。目標は 90%達成できたと思います。韓国語力は日常生活を支障なく送れるレベルに達し、韓国以外のバングラデシュやラオス、アプリを使ってインドネシアの方とも話をしました。しかし、人見知りはあまり改善できませんでした。奈良大学の代表である交換留学生として、しっかり意識をもって自覚ある行動が出来ました。

■派遣先国・大学で、どのような国際交流を行い、どのような活動をしましたか？

留学初期に MT という学部の親睦会がありました。これが一番の韓瑞大学校の行事という感じがしました。他にもスピーキング大会で、外国人の生徒が流暢に韓国語を話している姿を見て憧れたり、現地の人たちと一緒にキムチを作ったり有意義な時間を過ごせました。

■留学中、どんな困難や苦労がありましたか？またその困難をどう乗り越えましたか？

留学中、初めの頃は韓国語を話すことはおろか、聞き取りや読むことにも時間がかかったので、他大学(日本)の年下の学生に手伝ってもらわないと何もできない状態でした。ホームシックもありました。ホームシックは友達に電話をして助けてもらい、語学力の面では授業で学んだことをその都度覚え、更にテスト期間中に復習して定着度を上げました。

■留学前と比べて「学習面」で成長できたと思う点はなんですか？

留学前は TOPIK1 級に合格出来るが、2級は合格できない程度の韓国語力でした。留学初期の頃には日常会話であれば出来るようになり、過去問ではありますが、4 級であれば余裕で合格できる程になりました。韓国語は同じ意味の単語が多かったり、独特の言い回し、細かいニュアンスの違いなどがあるので、その部分もこれから更に習得していきたいと考えています。

■留学前と比べて「人物面」で成長できたと思う点はなんですか？

留学する前は自己肯定感が高くなく、よくネガティブ思考に陥ったり、自慮に進ことも多かったです。しかし、海外で一年間生活するという自他ともに認められる成功体験を経たことで、自分に自信がつけました。また他国籍の友人が出来たことで、友人らの言語や宗教、人生経験にも関心を持つようになりました。日本で生活していても考えることはあったかもしれませんが、ここまで強く関心を持つことはなかったと思います。

■今後、この留学経験をどう生かしていこうと考えていますか？

私はこの留学経験を生かして、派遣の大学である韓瑞大学校の大学院に進学しようと考えています。留学で身に着けた韓国語の実力を上げる目的と韓国居住を見据えた韓国の学歴取得目的があります。また、中国語を勉強するために台湾にも留学に行き、更に多くの国籍の方と韓国語以外の中国語でも交流したいと考えています。今回の留学で英語が堪能な友人が出来たので、英語も少しずつ少しずつ勉強していければと思っています。

■留学は楽しかったですか？留学して良かったですか？留学を終えての感想を

留学はとても楽しく、留学してよかったと思います。元々大学生になったら留学をしたいと考えていました。留学することに対してあまりよくない反応をされたり、独学で韓国語を流暢に話す人を見ると留学の選択は正しかったのかと不安に思うこともありましたが、大学生という自分の判断で行動することができる時期に留学することを決め、一年間やり遂げたことに意味があり、海外にとび出した自分を褒めてあげたい気持ちでいっぱいです。

■韓国及び派遣先大学の印象は？

奈良大学に比べて敷地が広く、学校周辺にコンビニや飲食店が多かったので驚きました。開講パーティーや MT などの行事で韓国人の友達を作ることが出来、授業によっては他国の生徒とも交流する機会があるので、積極的に行動すればするほど充実した留学生活を送ることができる大学だと思います。

■留学して一番困った・大変だったことは？

言語の壁が思っていたより高く、もっと独学で四技能を平等に伸ばしてから渡韓すればよかったかと思いました。読解は得意だったのですが、コミュニケーションをとるための聞き取りと会話力が未熟だったので、最初はとても苦労しました。

■留学中の楽しかった・嬉しかったできごとは？

自分の語学力の伸びを実感できた瞬間は嬉しかったです。また、留学ならではの経験(学校の行事で出掛けたり、キムチを作ったり)が出来た事が楽しかったです。

■留学先に持ってきて良かった・持ってくれば良かったと思ったものは？

・お気に入りのぬいぐるみ
(理由)ホームシックになったり、思うように留学生活が送れなかったり等の挫折感や悲しいときに抱きしめると、どこか安心できたり、もう少し頑張ろうという気持ちになれるから。

■留学中のお金の管理はどうしていましたか？

現金で十数万円持っていき、足りなくなったらクレジットカードで対応していました。通帳を作ってから親に事前に準備していた留学資金を送金してもらい、そのお金で生活していました。

■派遣先大学での生活環境はどうでしたか？

韓国も近いとはいえ外国なので、寮のトイレとシャワーが仕切り無しに同じ空間にあったり、長期連休の時には、学校周辺の飲食店が全て閉ってしまったりと不便な点がありました。しかし、基本的に学校周辺で必要なものは補充でき、公共交通機関を利用すればソウルにも行けて、便利でした。

■派遣先大学での課外活動はどんなものがありましたか？

留学生でエバーランドやナミ島に行ったり、キムチづくりを体験しました。学祭では留学生が自国の料理を販売していたり、芸能人を呼んでコンサートをしたりとても盛り上がりました。

■どのような国籍の留学生がいましたか？

中国・ロシア・モンゴル・ラオス・ベトナム・バングラデシュ

■渡航前にすべきこと・やっておいたほうが良いことは？

韓国語学習と留学資金の貯蓄、奈良大学での早めの単位取得です。韓国語能力がある状態で行けば行くほど留学で身につく語学のレベルが高くなると思います。留学中はしたいことや行きたいところ、食べたいものがたくさん出てくると思うけれど、どれもお金がないとできない事だからです。

■渡航後にすべきこと・やっておいたほうが良いことは？

韓国語能力試験の受験です。留学する学年にもよりますが、帰国後最短で受験したほうが、留学で身に着けた語学力を最大限に発揮することができると思います。時間が空くと毎日勉強を続けていない限り、韓国語能力は落ちていくと思います。

■今後の派遣留学生にむけてアドバイスを

留学生生活は一年間ありますが、その一年はあっという間に過ぎていきます。特に後期は学校生活にも慣れて、韓国語も身についてきているのに、留学期間は半年も残っていないという状況になります。このような状況にならないために留学前にできることは、韓国語の勉強ただ一つだと思います。

日本で生活するために日本語が必要なように、韓国で生活するには韓国語が必須です。留学で学ぶことは多くありますが、韓国語能力は日本にいてもある程度まで伸ばすことができます。かつ出来るようになって不利になることはないと思います。留学の目的は人それぞれ違うと思うのですが、どのような目標であろうと現地の言語が出来ない事は不利であり、時間がもったいないと私は感じました。

留学体験記

TOPIK2級を取得してから渡韓しましたが、最初の半年間は韓国語の勉強に時間を使ってしまい、言葉がわからないので現地の友達を作るのも難しいです。

だから留学前に韓国語の勉強を出来る限りしておいて、現地ではそれ以外のことに時間を使ってほしいと思います。